

2016年度摂南大学研究助成「Smart and Human研究助成金」審査結果について

①採択一覧表

研究代表者から24件(地域総合研究:5件、一般研究19件)の応募がありました。審査の第1段階は審査員全員5点満点で評価し、第2段階はその高評価を中心に協議し、可能な限り多くの課題を採択するように努め、地域総合研究5件、一般研究8件を助成することを決定しました。審査は、応募要領に記載の目的、応募条件、研究課題の募集内容に沿ったものであるかを基に選考しました。次頁に採択された研究課題の講評を記載しています。研究課題の推進と成果に期待します。

(1)地域総合研究

番号	研究課題	学部等	研究代表者	共同研究者	研究協力者	助成金額 (千円)	備考
1	「すさみ町総合開発研究」から得た課題分析結果による地域社会の持続可能性に関する研究(2)	外国語	浅野 英一	理工学部 橋本 正治 他1名		900	継続 2年目
2	北河内地域の総合研究のための枠組みづくり(3)	経済	平野 泰朗	経済学部 八木 紀一郎 他11名		750	継続 3年目
3	伝統野菜「門真れんこん」を醸す「れんこん酵母」の探索と応用	理工	西矢 芳昭	理工学部 中嶋 義隆	門真市役所市民 生活部 大平 昌幸 他4名	500	
4	由良町創生推進のための助走的研究(2)	理工	尾山 廣	理工学部 稲地 秀介		400	継続 2年目
5	摂南大学が地域の拠点となるために必要な空間的条件の整理-“地域拠点としての大学”に求められる要素とは?-	理工	池内 淳子	理工学部 竹原 義二 他8名	院生12名 学部生18名	400	

(2)一般研究

番号	研究課題	学部等	研究代表者	共同研究者	研究協力者	助成金額 (千円)	備考
1	小児用口腔内崩壊錠(小児用OD錠)の開発	薬	小森 浩二	薬学部 山下 伸二 他3名	東和薬品 株式会社 沖本 和人 他2名	400	
2	高等教育におけるダイバーシティを基にした「アクセシビリティ」の概念基礎研究	キャリア	石井 三恵	キャリア教育推進室 水野 武		250	
3	放課後等デイサービス施設における重症心身障がい児の「見守りやすさ」に関する研究	看護	池田 友美	看護学部 中山 祐一 (2016年4月着任予定)	大阪府立大学 工業高等専門学校 鯉坂 誠之	150	
4	外国人留学生の多様化に向けた日本語教育体制の整備(3)	国際交流	高井 美穂	外国語学部 齋藤 安以子 他1名		350	継続 3年目
5	海外他大学協同【サステイナブル開発系 海外インターンシッププログラム】の開発及び実践研究(2)	理工	白鳥 武	理工学部 川野 常夫 他13名	院生1名 学部生10名	900	継続 2年目
6	日・EUの産業クラスターにおける大学の役割に関する実証的比較研究	経済	久保 廣正	経済学部 後藤 和子 他1名	IULM大学 Dr. Guido Ferilli 他2名	800	
7	知的専門職業人アセスメントの作成とWebシステム化に関する研究(2)	経営	山本 圭三	法学部 吉田 佐治子 他1名	摂大非常勤講師 富岡 直美 他3名	600	継続 2年目
8	都市構造のモニタリングを目的とした空き家分布の広域推定法の開発	理工	熊谷 樹一郎	理工学部 大谷 由紀子 他3名	院生7名	600	

## ②講評

### (1)地域総合研究

番号	研究課題	講評	備考
1	「すさみ町総合開発研究」から得た課題分析結果による地域社会の持続可能性に関する研究(2)	すさみ町の地域総合研究は、長年にわたり多面的に推進されているので、継続すべき研究課題である。また、本研究は過疎地域がもつ様々な課題を文理融合的に取り組み、地域社会のニーズに応じた活性化と大学による地域貢献の可能性と限界を明らかにするうえで意義深い。しかし、これまでの研究成果や記録が宣伝広報のような形のものがあったが、学術的なものとして残されていない。すさみ町に限定されない紀南地域全体の中に位置づけ直して、政策提言も行い、学術的な成果を残していただきたい。なお、大学の「GOC+」事業との連携とあるので、大学としての活動資金とSmart & Human研究助成との関係性を明らかにされることを望みます。	継続 2年目
2	北河内地域の総合研究のための枠組みづくり(3)	摂南大学が位置する北河内地域の総合研究であり、大学の地域貢献に繋がる研究として重要である。北河内地域を全体的にカバーするプロジェクトとして戦略的に維持発展させたい。	継続 3年目
3	伝統野菜「門真れんこん」を醸す「れんこん酵母」の探索と応用	地域特産品ブランドの確立に向けた目に見える具体的な成果が期待できる。また、門真市の協力が期待でき、発展性がある。	
4	由良町創生推進のための助走的研究(2)	今年度、由良町創生推進の好調な「助走」が行われたように思える。地方創生の礎が期待できる研究であると考えられる。本学の地域貢献事業の対象地域であり、研究を発展させたい。	継続 2年目
5	摂南大学が地域の拠点となるために必要な空間的条件の整理-“地域拠点としての大学”に求められる要素とは？-	摂南大学寝屋川キャンパスの用地拡大を契機として、地域連携拠点となるための条件を明らかにしようとする取り組みは評価できる。模型製作や活動実績の視覚化により情報共有がしやすくなるので、地域連携活動の今後の展開にも寄与できる。	

### (2)一般研究

番号	研究課題	講評	備考
1	小児用口腔内崩壊錠(小児用OD錠)の開発	小児医療に目を向けた研究であり、将来的には発展途上国の小児医療の改善にもつながる。優れた取り組みであり、Smart and Humanの考え方にも合致している。さらに、大学内だけでなく製薬企業や臨床施設(病院)など、医療や社会との接点も強く意識した研究体制が組織されていることも高く評価できる。	
2	高等教育におけるダイバーシティを基にした「アクセシビリティ」の概念基礎研究	多様な学生に対する学修機会の保障と、多様な人材を育成していくことに視点を置いた研究である。インタビュー実施による分析結果について、学内で共有された。	
3	放課後等デイサービス施設における重症心身障がい児の「見守りやすさ」に関する研究	介護スタッフから見た放課後等デイサービス施設における重症心身障がい児の「見守りやすさ」に関する研究であり、アイマークレコーダーを用いた印象評価に基づく心理分析と知覚分析を行う手法は興味深い。	
4	外国人留学生の多様化に向けた日本語教育体制の整備(3)	留学生を増やしグローバル化を進めるためには新しいプログラムの開発が必要で、その基本的な資料収集が期待できる。	継続 3年目
5	海外他大学協同【サステナブル開発系 海外インターンシッププログラム】の開発及び実践研究(2)	異文化・異なる価値観等を地球規模での共生という基本理念で包摂する、優れた海外インターンシッププログラム開発の試みである。また、サステナブル開発の実践的研究プロジェクトとして、初年度の成果をあげている。プロジェクトの視野を拡げること、記録・評価も加えた学術的にも価値のある報告書を作成することを望みます。	継続 2年目
6	日・EUの産業クラスターにおける大学の役割に関する実証的比較研究	北河内地域の拠点を目指す摂南大学にとって、必要かつ意義ある研究である。単位互換の協定も視野に入れての人材育成策の可能性を是非とも検討されたい。	
7	知的専門職業人アセスメントの作成とWebシステム化に関する研究(2)	本学の教育の理念にある「人間力」に焦点を当て、その能力の変化を定量的に評価するシステムの開発を目的としており、高く評価できる。知的専門職業人の育成にとって、有用なシステムであり、ぜひとも実用化してほしい。また、パフォーマンスとして表出されない情意レベルの学習アウトカムを測定しようとする優れた取り組みである。そのためには、全く新しい着想が必要で、研究成果の集積が期待される。	継続 2年目
8	都市構造のモニタリングを目的とした空き家分布の広域推定法の開発	現在、空き家問題が至る所で問題となっている。本研究は、(寝屋川市の)水道栓データ等を使った空き家分布推定図を作成する。この方法は、他地域にも応用でき、地域再生計画の基礎的データになる。	